

## 会 議 要 旨

会 議 名	令和2年度 第1回館山市行財政改革委員会
開 催 日	令和2年7月28日(火) 13:30～15:45
開 催 場 所	館山市コミュニティセンター 第一集会室
出 席 者	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 館山市行財政改革委員会委員 8名</li> <li>◆ 館山市(事務局) 市長・副市長・総務部長・行革財政課(課長以下4名)</li> </ul>
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
傍 聴 者	0名
会議概要・結果等	<p>○委嘱状交付・市長あいさつ ・市長より各委員に委嘱状を交付</p> <p>○委員長選出 ・立候補者がなかったため、事務局より委員長に伊藤伸委員、副委員長に児玉委員を提案⇒了承</p> <p>○協議・情報提供</p> <p>(1) 第3次館山市行財政改革方針の進捗状況について ・平成30年度・令和元年度の行財政改革の取組みについて、事務局より説明。</p> <p>(2) 令和元年度決算概要(推計値との比較) ・第3次行財政改革方針の具体的な取組と効果額について事務局より説明。 ・災害関連予算の多くが、R2年度に繰り越されていること、今年度の新型コロナウイルス感染症対策が見通せないことから、R2決算見込みも踏まえた「新たな財政推計」との対比・検証が必要であることを事務局より説明。</p> <p>～ 情報提供：被災・支援の状況、地方創生臨時交付金など ～</p> <p>【(1)・(2)に関する主な委員意見】 (●：委員意見 ⇒：事務局回答)</p> <p>●推計値の市税の徴収額令和元年度見込み額は同じか。 ⇒予算はこれより少なく、上振れしている。歳入予算割れしないようにしている。</p> <p>●災害関連の執行率が10%という状況は、行革を進めていけるのか。残り90%へ全力で取り組むべきではないか。コロナもあり状況が変わっている中で行革の推進には迷いがある。</p>

⇒集中して一つ一つ取り組んでいきたい。

●コロナの影響はどの程度の減少と見込んでいるか。

⇒見込みは作成していない。対象も制度も全体がわからない状況であり、台風の影響による固定資産税の減収もあるためコロナではなく災害での減少を見込んでいる。

●推計をどうしていくか。作成された当時には台風もコロナもなく、今後再度台風災害が発生した場合どうなるか全くわからない。市民への発表方法やリリースが重要と考えるため、会議資料のようなものを広く活用し地域づくりに役立てるチャンスでもあり課題でもあると思う。

(3) 今後のスケジュールについて

事業仕分けを行うか、計画の策定に協力するか、公共施設の見直しを行うか等、継続協議とする。

(また、今後の委員会については、状況に応じて Web 会議とする)

●市民との対話が大事である

●できるタイミングで事業仕分けは行ってほしい。マラソンの民間委託等改革は進めてほしい。

●1つのイベントをモデルとし、2年中止となっていることをどう捉えるか、費用面だけでなく運営をどうしていくか等議論することも行革と思う。